

One Welfare国際研究センター セミナー

「公務員獣医師の役割と福岡県のワンヘルスに関する取組み」

日時：4月21日（火） 13:30～15:00

場所：獣医研究科棟4F 大講義室

講師：福岡県 農林水産部 畜産課 動物衛生班
松井 奎吾 先生

・ 公務員獣医師の役割

県職員として働く獣医師は、県民の健康生活の維持、食の安全・安心の確保、人と動物の共生社会の推進や家畜の伝染病対策といった幅広い業務に携わることになります。具体的には、食肉検査、狂犬病の予防、動物愛護の推進、感染症対策や、食品衛生に関する指導、理・美容所などの生活衛生に関する指導、家畜の伝染病予防、畜産農家に対する衛生指導などの業務に従事するほか、環境問題の解決にも取り組んでいます。福岡県での主な勤務先は、「保健福祉(環境)事務所」「食肉衛生検査所」「家畜保健衛生所」の3か所で、このほか、本庁、農林業総合試験場などがあります。動物も人も社会も守る、公務員獣医師の仕事内容を紹介します。

・ 福岡県のワンヘルスに関する取組み

「ワンヘルス」とは、人と動物の健康と環境の健全性をひとつの健康と捉え、一体的に守っていくという考え方です。福岡県では全国で初めてワンヘルスに関連する条例を定め、ワンヘルス実践の仕組みを構築するために、ワンヘルス推進に関する施策や取組みを体系的に整理した「福岡県ワンヘルス推進行動計画」を策定し、具体的な取組みを進めています。今回は福岡県のワンヘルスの取組みについてご紹介します。上記の条例や計画に基づき、新興感染症や地球温暖化などの課題に対応するため、人の健康と環境の保全に関する調査研究機能を持つ保健環境研究所と動物の保健衛生を一元的に扱う「動物保健衛生所」とが相互に連携した「ワンヘルスセンター」を令和9年度中に整備します。ワンヘルスセンターでは他に類を見ない「人」「動物」「環境」の各分野に関する一体的な試験・検査、調査・研究ができる特徴を生かして、ワンヘルスに関する先進的な調査研究や専門人材の育成などを進めていきます。なかでも動物保健衛生所は、全国で初めて設置される新しい組織であり、家畜に加え、愛玩・展示動物、野生動物を対象に人獣共通感染症、薬剤耐性菌、家畜伝染病の調査・研究を行います。現在、福岡県では動物保健衛生所の開設に向けて、国立感染症研究所や山口大学などの専門連携機関との連携を図り、人材育成や業務内容の検討などを行っています。

連絡先：清水 隆 (5895)